

小田原再生可能エネルギー事業化検討協議会 説明台本

# 「おだわら再エネってなあに？」

講師

協議会コーディネーター

志澤 昌彦

## 【スライド3】 表紙

みなさん、今日は暑い中集まってくれて、本当にありがとうございます。

私は志澤昌彦といいます。どうぞよろしくお願ひいたします。

今日は、私たちが暮らすここ“おだわら”での新しい取組をみんなに知ってもらいたくてやってきました。

題して「おだわら再エネ」、おだわら再エネってなんだろう？

## 【スライド4】 東日本大震災の発生

去年の3月に大きな地震が起きました。

そう、「東日本大震災」です。

みんなも私も、今までに経験したことのない、大きな大きな地震でした。

この地震で、私たちの生活にいろんなことが起こりました。

## 【スライド5】 計画停電の発生

そのひとつが、「計画停電」です。

お家では、明かりがつかない、テレビが映らない、エアコンが動かない。。。

外では、信号が消えちゃう、街灯が消えちゃう。。。

街中が真っ暗になりました。

みんながすごく怖い思いをしたと思います。

当たり前に使えたものが使えなくなり、私たちは大きな不安を覚えました。

## 【スライド6】 これじゃダメだ！

このように、東日本大震災によるいろんな経験を受けて、ここ小田原で新しい動きが始まりました。

電気を始めとする、『私たちが使うエネルギーを私たちが少しでも賄えるようにしよう』という動きです。

『地域で使うエネルギーをできるだけ地域で創り出そう！』と決めたのです。

## 【スライド7】 再生可能エネルギーの紹介

でも、私たちの暮らす地域で生活に必要なエネルギー創り出すにはどうしたらいいんだろう？

何が使えるんだろう？

私たちが注目したのは、身の周りにある、安全安心な“自然の恵み”によるエネルギーです。

おひさまの光、川の流れ、どこからともなく吹く風。。

このようなエネルギーを『再生可能エネルギー』と言います。

『再エネ』って覚えちゃいましょう。

これから代表的な再エネを紹介しましょうね。

## 【スライド8】 太陽光発電

はじめは、「太陽光発電」です。

おひさまからの光を電気に変えられるんです。

僕私のお家に太陽光パネルが付いてるお友達！（はーい）

太陽光発電は 50 年以上前から研究されてきた、一番身近な、再エネによる発電方法なんですよ。

## 【スライド9】 風力発電

次は、「風力発電」です。

風力で大きなプロペラを回して発電します。

風の強い海沿いや、山によくあります。

ドイツでは、この風力発電で、使う電気全てを賄っている村もあるくらいです。

## 【スライド 10】 小水力発電

次は、「小水力発電」です。

ひとつの例として、川の中にくるくる回る羽根を沈めて、流れてくる水の

勢いを使って発電します。

みんなも知っている“水車”も水力を利用した方法のひとつで、日本でも昔から水力は利用されていました。

さて、代表的な3つの再エネを紹介しました。

この再エネを使って、地域で使うエネルギーをできるだけ地域で創り出し、いこうとするための集まりが。。。

## 【スライド 11】 協議会の紹介

『小田原再生可能エネルギー事業化検討協議会』です！

小田原で暮らす方々や、再エネに詳しい方々が集まって、小田原を中心とする地域に再エネを広めて行こうとする団体です。

この再エネを広めて行くために、協議会は3つの目標を考えました。

一つ目は。。。

## 【スライド 12】 目標1：創エネ

『創エネ』です！

環境に優しい地域の資源である再エネを広めよう。

与えられたエネルギーを使うだけでなく、私たちで安心安全なエネルギーを創り出そう！

## 【スライド 13】 目標2：省エネ

二つ目は、みなさんも聞いたことがあると思います、『省エネ』です！

私たちが使っている電気などを「今どれくらい使っているんだろう？」という想いを“見える”かたちにして、みんなでエネルギーの消費を減らそう。

エネルギーの消費を減らして、再エネによる安心安全な社会を目指そう！

## 【スライド 14】 目標3：みんなのエネルギー

三つめは、『みんなのエネルギー』です！

私たち市民の力で、みんなでエネルギーを創りましょう。

## 【スライド 15】 蓄エネの紹介

最近では、再エネを使って作り出した電気を必要なときに、また非常時に

も使えるようにしようという動きが出てきています。

「蓄電池」が今注目されてきています。

『蓄エネ』なんて言われています。

## 【スライド 16】 事業内容の紹介

このような目標をもって協議会では、学校を始めとする公共施設や市内の土地などに、まずは太陽光発電を取り付けようと考えています。

学校などに取り付けることで、地震などの非常時でも電気が使えるようになります。

少しでも安心な生活ができるように、協議会は一生懸命活動していきたいと思えます。

みなさんの暮らす小田原でエネルギーについての新しい動きがあることをぜひ知っていただきたいと思えます。

## 【スライド 17】 おしまい

これで『おだわら再エネ』の説明を終わります。みなさんどうもありがとうございました！